



国際大会、4人全員が銀メダル

地学

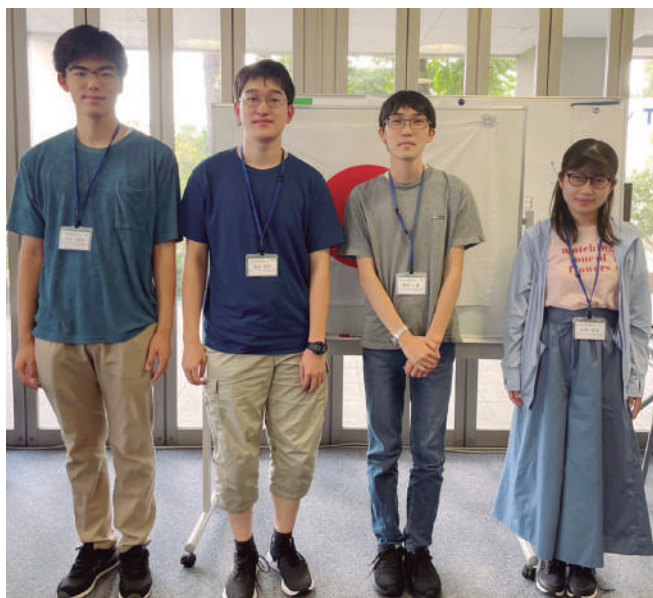
2023年度の国際地学オリンピック(通称IESO: International Earth Science Olympiad) 第16回大会が、8月20日から26日に開催されました。コロナ禍によってオンライン大会となり3年目となります。日本代表選手4人は茨城県つくば市に集まり、1週間の大会に臨みました。

日本代表として4人で参加した「NTFI (各国チームフィールド調査)」では、関東大地震から100年目となる年として、「目で見る地震」をテーマに発表を行い、銅メダルを受賞しました。

「ESP (地球システムプロジェクト)」では、地球システムに関する四つのテーマ

について国際チームが結成され、オンライン・コミュニケーション・ツールを駆使して、共同で準備を行い、各選手が素晴らしい発表を行いました。

個人戦となる「DMT (データマイニングテスト)」では、4人全員が銀メダルを受賞しました。



国際地学オリンピックで日本代表の生徒4人が銀メダルを受賞した

た。ESPでは、海外のチームメートの英語力に圧倒されながらも、協力してエルニーニョ現象について調べて発表を行いました。海外の人と交流する機会は初めてだったので、とても良い経験になりました。代表に決まってから約半年、合宿や研修を通して、仲間と共に、今までにない多くの経験をさせていただきました。全力で地学を楽しめた時間でした。支えてくださった方々に感謝しています」

2024年度のIESOに向けた国内予選は9月から募集が始まり、1次予選が12月にオンラインで実施されます。第17回IESOは、2024年8月に中国・北京で開催される予定です。世界の地学好きの生徒との交流を目指して、皆さんのチャレンジを待っています！

(澤口隆・特定非営利活動法人・地学オリンピック日本委員会事務局長)